

データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発（第3回）

疾患リスク評価アルゴリズムと健康相談エージェントの開発

研究概要：国民の健康寿命を確保するためには、家庭の中心となる妊婦及び児童の生活習慣の改善が欠かせない。そこで妊娠高血圧症候群、小児肥満、SGA(Small for Gestational Age:在胎不当過小)といった妊婦・児童の発症予測と予防医療を可能とするPHR(Personal Health Record)システムを開発する。東北大学の開発する健康情報記録アプリを改修し、妊娠高血圧症候群、小児肥満、SGA等のリスク評価、疾病予測アルゴリズムを実装する。また、チャット形式で健康相談を行えるようにLLM基盤とグラフィカルに自身の健康情報を予測・フィードバックするデジタルツインシステムを構築する。こうしたAIや情報通信技術に伴うELSI(社会的・倫理的・法的)な調査・対応も行い、社会に安全かつ浸透しやすいPHRを提供する。



東北大学

疾病予測アルゴリズム開発
妊娠高血圧症候群、小児肥満、SGA



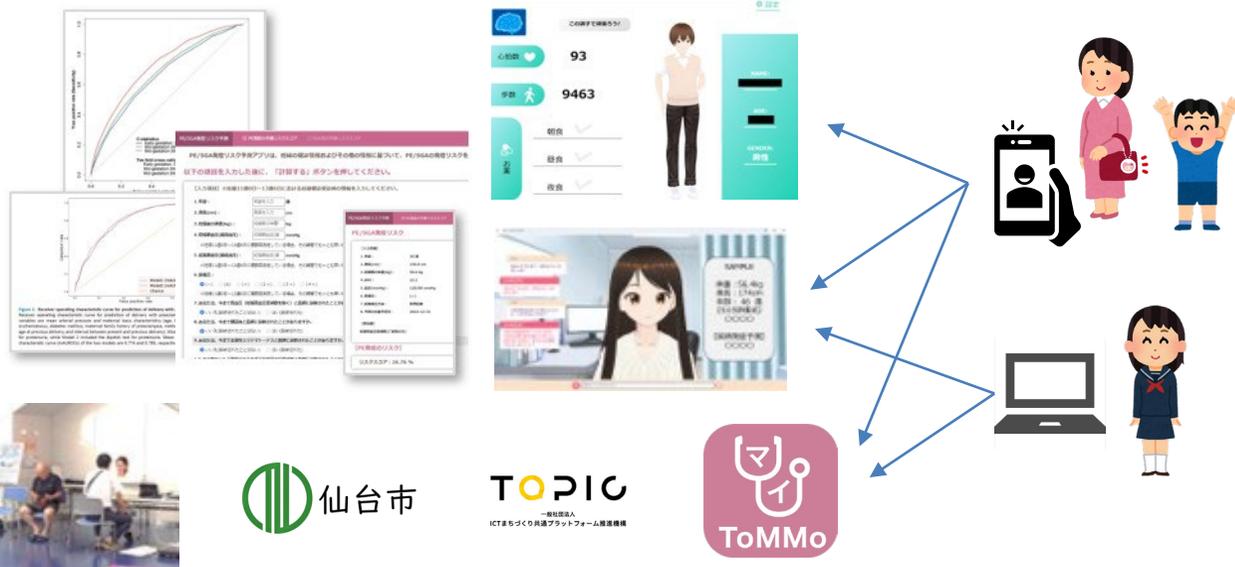
群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

健康相談LLM基盤の開発
デジタルツインのフィードバック



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

ELSI調査・対応



【研究開発期間】 令和6年度から令和7年度まで

【受託者】 国立大学法人東北大学（代表研究者）、国立大学法人群馬大学、国立大学法人東京大学